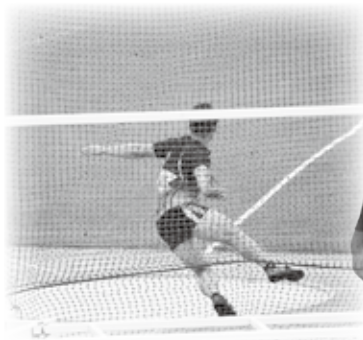




陸上男子円盤投 近畿大会優勝



加納 侑也さん



6月14日(土)にたけびしスタジアム京都で行われた「第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会」の男子円盤投で、加納侑也さん(東桜台)が自己新記録の44m2cmで優勝し、全国大会へ出場されました。

円盤投をはじめたきっかけ

中学1年生の冬に右足のけがで、男子100m走の種目を続けることが難しくなり、当時の陸上競技部顧問の先生から「投てき競技をしてみたら」との進言があり、円盤投へ種目転向されました。その後すぐの記録会では、好成績を収め先生を驚かせたそうです。また、自分も本格的に円盤投に挑戦したいと思い「練習用の円盤を買ってほしい」と家族にお願いし、近所の公園で練習されていました。

近畿大会優勝

試合では、用意されている10個程度の円盤の中から、錆(さび)合や、滑り止めののるかなどの確認を行い、使用する円盤を自分で選択します。円盤は、握ったりつかん

だりするのではなく、遠心力で持つので滑り止めが重要になります。加納さんは、多種目も経験したうえで「円盤投は、簡単に記録が伸びず、一つ一つの技術が大切になり『ただ投げる』というシンブルだけど繊細で奥が深い魅力的な競技です」と話されました。また、「今まで精神的に弱いところがあったので、今回の大会では、力まずにいつもどおり競技ができるようメンタルを鍛えました。初めて見る景色は、緊張するため、大会前日からしっかりと景色を見て本番に挑みました」と話されました。

今後の目標

「全国大会でも、いつもどおり競技を行い、ベスト8に残って決勝戦に進出したいです。小柄な日本人は世界で戦うのは難しいと言われていたけれど、滋賀県で来年開催される近畿・全国インターハイにも出場し、しっかりと経験を積んで、自分が日本人も世界で戦えることを証明したいです」と話されました。

100歳

おめでとう

おめでとうございます

◆大橋 すみさん(必佐)

6月23日(月)にお誕生日を迎えられ、27日(金)に町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。

大橋さんは仕事の関係で日野町へ来られました。昔から働き者で、ミシンで着物を作られていたこともあるそうです。現在は町内の施設で過ごされています。

ご家族に長寿の秘訣を伺うと「人のためにパワフルによく動いていました」とのこと。お孫さんは学生のころに毎日お弁当を作ってもらっていたそうです。

当日は「みなさんからこんなにしていただいてありがた

いです」と涙ながらに話され、曾孫さんにも「おばあちゃんうれしいわ」と声をかけておられました。



◆問い合わせ先

長寿福祉課
高齢者福祉介護担当

☎0748-5216501



町ホームページ内でも町的话题を紹介していますのでぜひご覧ください。



キッチンさくらだに — RMO学童 お弁当配食事業 —

6月26日(木)、桜谷地域農村RMO推進協議会事務所(旧JA日野北支店)でRMO学童お弁当配食事業に向けた試食会が行われました。学童保育所「さくらんぼ」の子どもたちにおいしく食べてもらうために、試食会ではアンケートや、学童の先生との話し合いが行われ、容器・量・最後まで食べてもらう工夫などについて検討されました。

試食会での意見を踏まえて、夏休みの4日間、桜谷地域農村RMO推進協議会と地域のボランティアの方が、事前に申し込みのあった数量のお弁当を作られました。三食丼・おにぎり弁当・やさそば弁当・カレーのメニューが1食400円で販売され、子どもにも保護者にも大好評でした。今後は、高齢者向けのお弁当配食など、対象者を広げていきたいと話されました。

試食会の様子



おいしいね～

第1回(7月29日)の様子

歴史探訪 「大字鳥居平の歴史、 古文書紹介と雅楽演奏」

7月12日(土)、鳥居平の会議所で歴史探訪「大字鳥居平の歴史、古文書紹介と雅楽演奏」が行われ、大字内外から42名の参加がありました。

まず、地元の麻原喜代次さんが「一押し鳥居平 歴史遺産、伝承」と題し、鳥居平の文化財の見どころについて話されました。

続いて、近江日野商人ふるさと館の岡井健司館長が記念講演として「日野町文化財保存活用地域計画 文化庁認定に関する説明と今後の取り組み」と鳥居平の古文書の魅力について話されました。

最後に鳥居平「宮商社楽人座」による雅楽演奏が行われ、鳥居平の歴史について触れ合う時間となりました。



モノを動かす技術で守れ! 地球の生き物たち

7月25日(金)、西大路の学童保育所「わたムツキ」の小学3～6年生が、町内に事業所を持つ株式会社ダイフクの社員6名と一緒にテクノロジープ(技術)を使って生き物を守るアイデアワークショップを行いました。

ダイフクでは、滋賀県事業所内で生き物の保全活動に力を入れており、社外の人や、次世代にも発信したいの思いから、今回、放課後NPOアフタースクールとの協働により開催されることとなりました。

子どもたちは、提示された写真から現在の環境で起っていることを探し、ワークショップでは、テクノロジープカードを使って、生き物を守るためのアイデアを発表しました。

8月25日(月)には、桜谷の学童保育所「さくらんぼ」でも同様に開催されました。

無人搬送車などの テクノロジーカード

